

反畑 誠一(たんばた・せいいち)先生

音楽評論家 立命館大学客員教授

音楽評論家。

立命館大学産業社会学部客員教授(本講座の他、「企画研究」・専門特殊講義 SK「ポピュラー音楽論」を担当)。

一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 特別顧問。

日本レコード大賞 常任実行委員・アルバム大賞審査委員。

毎日芸術賞推薦委員。

新聞コラム「ヒットの周辺」(京都新聞など 26 紙掲載)。

コンサート評・ポピュラー音楽(「日本経済新聞」)など

多数執筆中。音楽情報番組「うたなび！」

(京都放送など 12 局ネット)のナビゲーターを務める。

アジア各国の音楽文化・産業の研究・分析も手掛ける。



### 〈講義概要〉

開講オリエンテーションは、立命館大学産業社会学部の瓜生吉則副学部長の挨拶から始まった。副学部長は、3 団体から寄附を賜り開講している本講座の学習目標を具体的に説明し、第一線でご活躍中の素晴らしいゲスト講師のご講義を聴くことのできる貴重な機会であると言及した。また、先生方のキャリアにも注目をし、進路等の学習に繋げて欲しいと伝えた。

その後、本講座のコーディネーターであり音楽評論家でもある立命館大学客員教授の反畑誠一氏が、寄附団体の事業内容を紹介し、講座の歴史や概要、学習目標について説明した。貴重な講義を受講するにあたっての心構えについても示し、事前の予習を行い、講義の理解を深めるよう促した。

また、この講義の骨格となる著作権について文化庁のサイトを用いて分かりやすく説明。学生は著作権の基礎や違法ダウンロード等の問題点について学び、デジタル時代において著作権の知識を身に付けることの重要性とエンタテインメントビジネスを考える上で理解を深めておく必要があることを痛感した。さらに、コンテンツ産業の概念や音楽ビジネスの現状についても解説し、学生に幅広い知識を与えた。

最後に、次回からの講義テーマや講師陣について紹介し、各講義において習得して欲しい学習のポイントを伝え、予習を行い受講するよう促した。

## 《受講生の感想》

● 将来音楽業界で働きたいと思っている私にとってこの講義は本当に為になるものであると思う。どの先生にも尊敬の気持ちを忘れず積極的に質問や会話をし、講義が終わったときに意義のあるものであったと思うように頑張りたい。

立命館大学・産業社会学部・1 回生

● エンタテインメントの第一線で活躍されている方のお話を聞ける滅多にない機会なので、講師の方がどのような仕事をされているのかについてしっかり予習をし、“積極的に聞く”という姿勢を保っていききたい。

立命館大学・産業社会学部・1 回生

● 著作権の動画を見て著作権のことをもう一度改めて理解できてよかった。最近の CD が売れていない理由として違法ダウンロードが増えていることが分かった。次の講義で違法ダウンロードの対策について聞くことができるのでしっかり学びたいと思う。また、講師の皆様にもリスペクトの気持ちを持って受講したいと思う。

立命館大学・産業社会学部・1 回生

● アーティストのプロモーションビデオを見て、震災という悲しい出来事をきっかけに音楽で日本が一つになってみんなが笑顔で歌っている映像を見ると、音楽の力は凄いなと改めて感じた。音楽業界で実際に働いておられる方々のお話を聞いてしっかり学びたいと思う。

立命館大学・産業社会学部・2 回生

● 1 回生の時から毎年受講していますが、エンタテインメントの世界は毎年動いているということを感じていました。後期もどのようなお話しをしていただけるのか楽しみです。また、就職活動も始まるので、エンタテインメント業界で働く人々の働く姿勢というものを学び、就職活動の目標にしていけたらいいなと考えています。

立命館大学・産業社会学部・3 回生

● 授業内のビデオを見て、著作権について理解することは重要だと感じました。私は映像制作をして自分の作品を上映する機械があるのですが、著作権など考慮しなければならないことがたくさんあります。ネット社会であるこれからの時代は著作権について考えていかなければならないと思いました。

立命館大学・映像学部・3 回生

● 普段何気なく当たり前のように触れているコンテンツだからこそ、どうすれば著作権に違法するのか、どんなことなら大丈夫なのか、分からなくなっていると感じます。この講義のように著作権に対して学べる機会があればもっと中高生の授業にも設けても良いのではないかと感じます。当たり前のように触れるコンテンツだからこそ、しっかり学ばなければならないと思います。

立命館大学・映像学部・3 回生

● 前期のデジタルネット文化産業論がとても勉強になったので、また受講することができて嬉しいです。この講座内で著作権についてきちんと学ぶことができ、本当に助かっています。特に自分の作品に音楽を入れる際に気をつけるようになりました。自分の進路を考える時にもゲストの先生方のお話は参考になっているので、後期の 15 回の講義も期待しています。

立命館大学・映像学部・3 回生

● ネット時代でもっとも問題となっている著作権であるが、馴染みがなく複雑なため、理解が難しいが、様々な方法で分かりやすく伝えているものもあり、自ら学ぶ姿勢が必要なのだと思った。

立命館大学・産業社会学部・1 回生

● 近年はデジタルが発達し、著作権との兼ね合いが非常に難しくなっていると感じます。近年の音楽の変化やデジタルの発達が音楽に与えた影響などについて非常に興味があります。音楽業界の最前線で活躍なさっている方々のお話を聴き、著作権と共に音楽業界のことを学びたいです。

立命館大学・産業社会学部・2 回生

● CD の売上(生産数)がネット文化の進行によって 10 年前に比べるとかなり低下していることをこれまで学んできましたが、ネット文化の進行は必ずしも音楽産業に悪影響を及ぼしているのではなく、ネットの速さ等の良い点を活かし、今日のデジタルネット文化の発展という時代背景に添った新たな形で音楽産業が活発になれば良いと思います。

立命館大学・産業社会学部・4 回生